

会 議 録

会議名	平成29年度 第2回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成29年11月17日(金) 午後3時～午後4時30分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 52会議室		
出席者	委員長 曾我部博之	上下水道局	副局長 杉本 尚久
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	岡田 千絵		副課長 永田 浩晃
	丹羽 忠彦		担当長 近藤 正典
			担当長 村井 幸介
			担当長 中條 圭祐
		上下水道局総務課	課 長 鈴木 満
			副課長 石川 直美
		担当長 成瀬 孝紀	

1 総務部副部長あいさつ

2 報告事項

(1) 平成29年度上半期の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
不調・不成立等の内訳の「その他」とは何か。	中止した案件である。不調、不成立とは異なるため「その他」として分類している。
建築一式工事の不調不成立が増加しているが、影響はないのか。	その後、再発注等を行い執行できているため、影響は最小限にとどめることができている。
不用品買受ではなく、売払ではないのか。	入札参加者側から見た登録業種のため、買受になる。
渡刈クリーンセンターの随意契約案件は90億と非常に高額だが、今後も同様に随意契約していくのか。	建て替え等がなければ、そのままだと思われる。建設時にその後の運営業務も含め検討し、事業者を選定している。
同施設は5年ごとの契約だが、契約更新時に積算内容などの見直しは行っているのか。	契約更新時に委託内容等を見直して積算を行っている。積算金額については、管理内容や維持関係などを見直し、金額も高くなっている。
当初契約時に再リース期間を見込んでいるのか。また、再リースはどのような場合に行っているのか。	当初契約時には再リースは見込んでおらず、当初契約のリース期間満了時の必要性や機器状況により、1年単位で再リースを行っている。
買入とリースのどちらを選択するか判断は、その都度決定するのか、あるいは一定の基準があるのか。	品目により標準的な目安や判断基準があるが、金額や状況で個々に判断している。

◇上下水道局

質 問	回 答
市内に専門業者が増えることは見込めない ので、専門的な業務の場合は、市外に発注 するのか。	基本的に市内で発注できるものは市内で発注する が、市内に業者がいないか少ない場合は、市外に 範囲を広げて発注している。
経営統合したがメリットは。	豊田市全域がひとつの水道事業になることで、市 民へのサービス水準が統一されるとともに施設監 視や水質検査体制が一元化される。
経営統合することでコストも削減できるの か。	その見込みである。
フォーム印刷はどのようなものか。	水道検針用ロール紙や水道料金の納入通知書を買 入している。
契約金額の合計がここ数年高止まっている 理由は。	施設や管路の老朽化による更新や耐震化など、今 後も経費の増加が見込まれる。

(2) 入札参加停止等の状況

質 問	回 答
バイクの転倒の件は、施工時に分からなかつたのか。また、その原因は。	施工業者がパトロールし埋戻し箇所異常がない ことを確認していたが、その後、陥没した。陥没 の原因は試掘箇所の埋戻しの転圧不足である。

3 審議事項

(1) 平成29年9月議会案件

質 問	回 答
無し	

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
建築設計において、参加者が多いが、結果 的に予定価格を上回り随意契約の交渉にな るのはなぜか。	土木系の設計と比較して、建築系の設計は単価や 設計の基本となるデータが無く、積算が難しいた め予定価格を上回ることが多い。
デジタル無線の議会案件は、随意契約にも かかわらず落札率が比較的低いのは何故 か。	参考見積時の金額精度によるものと思われる。
電子カルテシステムについて、同等品不可 の場合、随意契約になるのではないか。	メーカーを選定しても、取扱可能な業者が1者に 限定されない場合は一般競争入札となる。

4 その他

(1) 第3回委員会の開催予定について

第3開催予定は、2月中旬を予定。

第4開催予定は、3月中旬を予定。

12月中旬に日程の確認を行う。